

近畿のBFL選抜 台湾チームと交流試合

田辺市拠点のチーム発足記念



相手打線を抑えるBFL選抜の山川和大投手
(21日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパークで)

近畿地方の野球独立リーグ「ベースボール・ファースト・リーグ(BFL)」の選抜チームと台湾の社会人野球チームの交流試合が21日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク野球場であった。日本や台湾のプロ野球入りを夢見る選手たちが対戦し、地元住民らが観戦した。

同市を拠点にしたチーム「和歌山ファイティングバーズ」が来季からBFLに参入するのを記念し、台湾の社会人野球リーグで強豪として知られる「トプロファルコンズ」を招待した。地元ファン獲得や海外との交流が目的。

BFL選抜は兵庫ブルーサンダーズのエース山川和大投手が先発し、8回を1安打無

失点と好投した。トプロファルコンズは読売巨人軍に在籍していた姜建銘選手も出場した。試合は5-0でBFL選抜が勝った。

近畿大学付属新宮高校(新宮市)に在籍していたトプロファルコンズの呉東融選手(24)は「日本のプロ野球にも興味がある。和歌山は久しぶりで、楽しみにしていた。ヒットを打ててうれしい」と笑顔。観戦した田辺市城山台の自営業、二神隆さん(62)は「テレビで野球を見るよりもスピード感があった。地元チームができたら絶対にファンになる。応援したい」と満足そうだった。

BFL選抜とトプロファルコンズとの交流戦は22日に兵庫

庫真三田市、23日に大阪府東大阪市でもある。

田辺市での新チーム発足をきっかけに、BFLは2017年からトプロファルコンズと業務提携する。日本と台湾でプロになる選手を育成しながら、相互の公式戦にスポット参戦するなどして野球技術の発展や地域間での交流に努める。